

平成21年

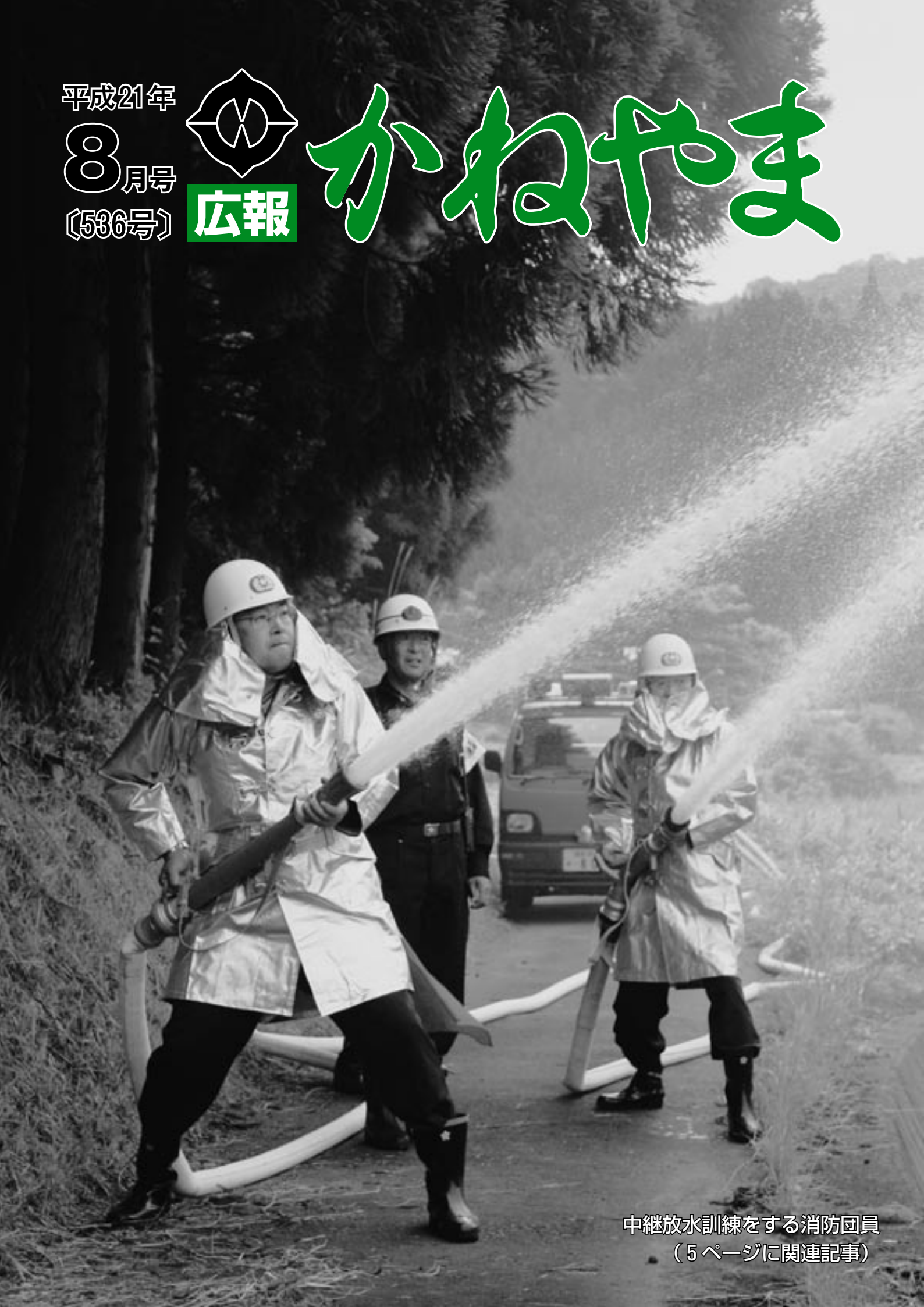
8月号

〔536号〕



広報

かねやま



中継放水訓練をする消防団員
(5 ページに関連記事)

やめよう不法投棄 ゆるすな環境破壊

各地で環境破壊が問題となっている昨今。
町や学校等で行っている町内の環境美化を図る
取り組みを紹介します。

・沼沢湖環境整備活動

不法投棄された大型家電製品や長期間放置されたボートなどにより損なわれた町の観光のシンボル沼沢湖周辺の景観、そして環境を守るために約七十名のボランティアによる投棄物回収や、放置ボートの自主的な片づけを呼びかけるポスター貼付作業が七月二十日に行なわれました。約三時間の作業で回収した不法投棄物の量は、左記のとおりです。なお、放置されたままのボートは十一月十日以降に町で撤去します。沼沢湖は東北地方でも有数の透明度を誇り、県内では唯一ヒメマスが生息する湖としても貴重です。町のこのような自然環境を破壊することは決して許さないと町民全体の意識高揚が必要ではないでしょうか。

回収した不法投棄物の総重量と 放置ボート数

▼燃えるゴミ

二百二十キログラム

▼燃えないゴミ

二千四百七十キログラム

※大型家電製品は含まない。

▼放置ボート数

約六十艘

・横田小学校クリーン活動

七月十六日、全校児童が三班に分かれて、学校周辺横田地内の国道二五二号の歩道や会津横田駅から校舎までの農道脇などに捨てられた空き缶や、タバコの吸い殻などのゴミを拾い集めました。最も多かったゴミは小学生とは関係ないタバコの吸い殻でした。

・川口高校環境美化活動

七月八日、全校生徒が校舎周辺や通学路でもある川口トンネルの清掃作業を行いました。一、二年生の男子生徒はブラシを使ってトンネルの壁面やガードレールの汚れを丁寧に洗いました。作業は、町駐在所、町消防団、町交通対策協議会の協力もありスムーズに進みました。この作業は川口高校のボランティア活動の一環として毎年実施されています。



クリーン活動を行う横田小児童

美しいかねやまを 残していくために

不法投棄への対策

残念ながら町内でも不法投棄が行われている現状があります。その対策として町では、毎年町内の全三十区長を不法投棄監視員として委嘱しており、不法投棄の調査をお願いしています。投棄者が判明すれば警察等の協力を得て、投棄物の自主回収を促しますが、投棄者が判明することとは少なく、不法投棄された投棄物の大部分は町で回収せざるを得ない現状です。区長による調査の他、町内各地に「不法投棄禁止」の看板を設置して投棄者への自制を促す努力もしています。



不法投棄物の撤去を行う参加者（沼沢湖環境整備活動）

問われる 私たちのモラル

沼沢湖周辺以外にも町内の至る所で不法投棄が行われています。捨てられているものは、家電製品、古タイヤなどの大型のものから空き缶や空き瓶などの小さいものまで多種多様です。投棄者が意図的に捨てているものもあれば何気ない軽い気持ちで捨てているものもあるかと思っています。これらのゴミが少しずつ積み重なっていき、町の景観を損ない、さらには環境破壊へとつながっていくのではないのでしょうか。美しいかねやまをこのままの姿で後世へと残していくために、今私たちのモラルが問われています。



トンネル清掃をする川口高校生徒

小規模校でも負けていない はつらつと川高健児が大活躍

県総合体育大会ボート競技は、7月3日から5日にかけて喜多方市の荻野漕艇場において行われました。舵手付クォドルプルに出場した川口高校ボート部女子は、本名美咲、加藤恵里香、高橋由里愛、横山ありさ、星和香の1、2年生の新クルーで臨み、県内の並みいる強豪校を押さえみごと優勝の栄冠を勝ち取りました。若きクルーのこれからの更なる飛躍が期待されます。

また、第91回夏の全国高校野球選手権福島県大会に出場した川口高校ナインは、7月12日に会津若松市のあいづ球場において行われた岩瀬農業高校との1回戦に11対6でみごと勝利しました。川口高校は参加89校中最少の10人でこの大会に挑み、連携プレーなどの練習不足の不安をみごとに吹き飛ばし夏の県大会4年ぶりの凱歌をあげました。続く会津工業高校との2回戦は0対8で惜しくも敗退しました。



夏の大会4年ぶりの凱歌をあげた川高ナイン



県総体優勝を果たしたボート部

涼しげに揺れる短冊に願いを込め

金山小学校の夏祭りは、7月7日七夕の日に行われました。まず情報委員会の児童が考えた劇を鑑賞した後、体育館に立てられた笹にそれぞれに願い事を書いた短冊を飾りました。また、七夕や星座にちなんだクイズや、「星に願いを」と題されたゲームを行い、約2時間楽しいひとときを過ごしているようでした。

この日は横田小学校で七夕集会、町内2つの保育所でもたなばた会が行われ児童たちが願いごとを書いた短冊を飾りました。



笹の葉に短冊を飾る児童

防災への意識を高める

金山町防災訓練は、7月11日に沼沢集会所を中心に行われました。約2時間にわたり、有事しながら通報訓練、中継放水訓練、林野火災消火訓練、初期消火訓練、炊き出し訓練、救急訓練を行いました。訓練には町消防団の他、婦人消防クラブ、赤十字奉仕団、会津坂下警察署金山駐在所、交通安全協会金山分会、会津坂下消防署金山出張所の機関や団体、沼沢地区住民ら合わせて約200名が参加しました。防災訓練を重ねて、もしもの時に備えることは大切ですが、それよりも火災を起こさないよう一人ひとりが十分に注意することが大切ではないでしょうか。



赤十字奉仕団による炊き出し訓練



多くの参加者が集まった防災訓練



優勝した「かねやま」チームのメンバー

県民スポーツ大会 家庭バレーボール 全会津の頂点に立つ

県民スポーツ大会両沼大会は7月12日、会津坂下町において行われ、家庭バレーボール競技に出場した「かねやま」チームは、見事優勝の成績を収め、会津地域大会出場の切符を獲得しました。そして8月2日に喜多方市で行われた会津地域大会でもその強さを遺憾なく発揮しました。決勝戦では序盤での劣勢をはねのけ見事優勝の成績を収めました。

英会話を学び国際理解を深める

こまどり学級・白寿学級の合同学習会は、7月13日に中央公民館の主催で開発センターで行われました。今回は、三島、昭和、金山の小中学校で英語指導助手として活躍しているリサ・ハンセン先生（カナダ出身）を講師に迎え「カナダからこんにちは」と題した国際理解講座を行い、約50名が参加しました。

講演ではリサ先生の母国カナダの紹介や、日本人だというリサ先生のおばあさんとの思い出などを聞いた後、簡単な英会話を学びました。



参加者に語りかけるリサ先生



最後に参加者全員で記念撮影

かねやまの良さを体験

NPO法人奥会津金山あそびのがっこうが受け入れを行った体験学習は、7月15日から16日にかけて町内において行われました。今回は会津若松市立河東中学校の2年生90名が参加し、町の特産品であるエゴマ栽培の農作業体験、絵ろうそくやわら細工などのものづくり体験、沼沢湖畔でのウォークラリーや福島県虫の会会長の小林潤一郎氏を講師に迎えての野鳥標本での自然観察などを行いました。体験に同行した菊池芳次校長は「日頃体験できないことを興味を持って行うことが生徒の成長につながる」と話しました。



標本で野鳥について学ぶ生徒たち



農業体験でのエゴマ畑の草むしり

交通安全の願いを込めて

夏の全国交通安全運動実施期間中の7月17日、中川地内において交通安全ふれあいキャンペーンが行われました。

交通安全母の会会員らが国道252号を走る車に「夏の全国交通安全運動期間中です。安全運転をお願いします」と声をかけ、安全運転をよびかけるパンフレットや記念品などを配布しました。また、7月21日には警察官の制服に身を包んだ町内の小学生らが「町内のみなさん、車の運転に注意してください」と交通安全の大切さを呼びかける広報活動を町内全域にわたり行いました。



安全運転を呼びかける交通安全母の会会員たち



広報活動を行った滝沢千代さん、渡部大地君、小川健太君、五十嵐亜弥香さん（左から）



広報活動を行った金山駐在所の菊田修朗警部補、五ノ井悠太君、五ノ井陽夏花さん、菅家綾さん、栗田優君（左から）

ドッチビーで優勝を争う

第36回少年少女球技大会が、7月20日に町青少年育成町民会議、中央公民館の主催で町民体育館において行われました。大会には、5チームが出場し、ドッチビーというドッチボールとフリスビーの要素を取り入れた競技で優勝を争いました。チーム間の差がほとんど無く、同点になり勝敗をじゃんけんで決する試合がいくつもありました。そんな接戦をうちかわ（川口、小栗山、八町、玉梨）チームが、みごと優勝の栄冠を手に入れました。



ねらいを定めてフリスビーを投げる児童

自己記録更新を 目指し奮闘

三町村水泳記録会が、7月23日三島、昭和、金山の各教育委員会、西部三町村小学校校長会の主催で金山小学校プールにおいて行われ、大会には3町村の小学5、6年生73名が参加しました。来賓を代表して金山町長が「人に勝つことも大切だが、自分の記録を乗り越えられるように日頃の練習の成果を発揮してください」とあいさつしました。児童らは、保護者らの熱い声援を受け、今まで練習してきた成果を十分に発揮していました。入賞者は以下のとおりです。



自己記録の更新に挑む児童たち

- | | | | | | | | | | | |
|--|--|---|---|--|--|--|---|---|---|--|
| <p>▼五十メートル自由形</p> <ul style="list-style-type: none"> ・五年女子
入賞者なし ①長谷川大介 (金山) ③五ノ井 潤 (金山) ・六年女子 ②佐々木理子 (金山) ③小林 里奈 (金山) ・六年男子 ①藤家 勉 (横田) ②長谷川順也 (金山) | <p>▼百メートル自由形</p> <ul style="list-style-type: none"> ・五年女子
入賞者なし ③中丸 渉 (金山) ・六年女子 ①若林 優麗 (金山) ②菅家 綾 (金山) ③須佐 真帆 (横田) ・六年男子 ①遠藤 峻 (金山) ②五ノ井 一幸 (金山) | <p>▼五十メートル平泳ぎ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・五年女子 ①長谷川真里 (横田) ・五年男子 ①長谷川大介 (金山) ③中丸 渉 (金山) ・六年女子 ①星 優香 (金山) | <p>▼五十メートルバタフライ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・五年女子 ①須佐 桃加 (横田) ②菅家 紅羽 (横田) ・五年男子 ①五ノ井 潤 (金山) | <p>▼百メートル平泳ぎ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・五年女子
入賞者なし ①中丸 匠 (金山) ②大竹 幹太 (金山) ・六年女子 ①若林 優麗 (金山) ・六年男子 ①五ノ井 一幸 (金山) | <p>▼五十メートル背泳ぎ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・五年女子 ②栗城 雪花 (金山) ・五年男子 ②渡部 大地 (横田) ・六年女子 ②須佐 真帆 (横田) ③井上 彩香 (金山) ・六年男子 ①遠藤 峻 (金山) ②藤家 勉 (横田) | <p>▼二百メートルリレー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・混合
入賞者なし ・女子 ①金山 A ③横田 A ・男子 ②金山 A | <p>▼百メートルメドレーリレー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・混合
入賞者なし ・女子 ①金山 A ③横田 A ・男子 ①金山 A | <p>▼百メートル個人メドレー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・五年女子 ①長谷川真里 (横田) ・五年男子 入賞者なし ・六年女子 ①星 優香 (金山) ・六年男子 入賞者なし | <p>・六年女子</p> <ul style="list-style-type: none"> ②小林 里奈 (金山) ③菅家 綾 (金山) ・六年男子 ②横田 孝則 (横田) ③長谷川順也 (金山) | <p>・六年女子</p> <ul style="list-style-type: none"> ②佐々木理子 (金山) ・六年男子 入賞者なし |
|--|--|---|---|--|--|--|---|---|---|--|

保育所の児童たちが 夏の風物詩を楽しむ

川口保育所、横田保育所合同の流しそうめん食べる会が、7月24日川口保育所で行われました。雨が降り玄関前での実施となりましたが、半分に割った竹から流れてくるそうめンを箸やフォークで上手に取り、前日に児童自身が作成した竹の器に入れためんつゆにつけておいしそうにほおばっていました。時折「先生、そうめん流して」と催促する児童までいて、みんなお腹いっぱいになるまで食べているようでした。



流しそうめんを楽しむ児童たち



頂上で参加者全員での記念撮影

日本百名山 福島県の第2の頂を目指す

中央公民館主催の町民登山が、7月26日に行われ、晴天の中約20名の参加者は、標高2132メートルをほこり福島県第2の高峰としてそびえ立つ檜枝岐村会津駒ヶ岳の頂上を目指しました。山頂付近は高層湿原が広がっており、ワタスゲやハクサンコザクラなど可憐な高山植物で見所が多い登山道を、自分自身のペースで一歩一歩進んでいきました。晴れ渡った頂上では、大パノラマが登山者を迎えました。

秋の収穫を心待ちにして

金山中学校のそばまきの体験実習が、7月31日に旧横田中学校近隣の畑において行われました。全校生徒が草むしりを行った畑に丁寧にそばの種と肥料を蒔いていきました。秋には、また生徒たちの手で収穫、そしてそばを味わうとのことです。渡部登代子校長は「この体験をとおして収穫の喜びと食物の栽培から口に入るまでの一連の過程を学習して欲しい」と話しました。



そばと肥料を蒔く生徒たち



湖上にその姿を現した大蛇



転ばないようにゴールを目指す水上ゲーム大会



よさこいを披露した「はなぶさ華総」



今年初めて行なわれたウォータースライダー

武者たちによる 鎌倉時代の伝説再現



いかだレースで見事優勝した「山十ベテランファイター」



クラフト体験でのろうそくの絵付け



妖精の絵コンテスト小学校低学年の部で妖精大賞を受賞した佐々木華さん（小栗山）の作品「しゃぼん玉をする妖精」



妖精の絵コンテスト小学校高学年の部で妖精大賞を受賞した栗田優君(中川)の作品「森の中の妖精」



今年も大人気の魚つかみ取り体験



見事な演奏を披露した羽生市の御雛子保存会



雨の中日本舞踊を披露した「恵会」
めぐみかい



大蛇に向かって矢を射る佐原十郎義連



大蛇退治に向け布陣した佐原十郎義連一行



鴻巣市から色とりどりの花の出店



会場内のゴミ拾いをする川口高校の生徒

沼沢湖水まつりが、八月一日、二日と開催されました。雨天のためプログラムの変更を余儀なくされた一日目。まつりの呼び物の一つ大蛇退治等の二日目。ボランティアに支えられ、多くの来場者でにぎわいをみせた二日間をお伝えします。

お知らせ

募集

東京金山会会員募集

東京金山会は、昭和四十三年に発足し現在は約百八十名の会員を数えます。年一回の総会には、町長や議長らを招き、町の近況などを聞き金山町への思いを分かち合いながら、故郷金山を離れ東京近郊で生活されている皆さんの親睦を図っています。また、広報かねやまの送付や、いろいろな催しのお知らせ等をいただいています。現在、東京近郊で生活されている兄弟や子供がおられる方で、まだ東京金山会に参加されていない方々には是非ともお知らせください。そして、一緒に故郷金山町を応援しましょう。

なお、詳しいことは下記までご連絡ください。



今年行われた東京金山会総会

◎問い合わせ

東京金山会会長
渡部 三郎

042-675-3540

副会長（事務局）

中丸 行雄

045-731-7306

今月の納税

- 町 県 民 税
- 後期高齢者医療保険料
- 保 育 料

8 月 分
1 期
2 期

納期限

8月31日まで

下水道資格認定試験

下水道排水設備工事責任技術者資格認定試験と受験者向けの講習会が実施されます。

【試験】

期日 十一月二十九日(日)

会場

日本大学工学部(郡山市)

応募締め切り

九月十一日(金)

受験料 三千円

【講習会】

期日

十月二十二日(木)

会場

ユラックス熱海(郡山市)

応募締め切り

九月十一日(金)

受講料 三千円

※テキスト購入希望者は、別途三千五百円が必要です。

◎問い合わせ：下水道係

054-5315

自衛隊看護学生等募集

自衛隊では平成二十一年度看護学生等を次のとおり募集します。

▼募集職種・対象年齢

・看護学生

・高等学校卒(見込含)二十四歳未満

・防衛大学校学生

・高等学校卒(見込含)二十一歳未満

・防衛医科大学校学生

・高等学校卒(見込含)二十一歳未満

・受付期間

九月七日(月)から十月二日(金)まで

なお試験期日や試験内容などの詳細については、次のところにお問い合わせください。受験料は一切かかりません。

◎問い合わせ

自衛隊福島地方協力本部

会津若松出張所

0242-2716724

これからの予定

★8月★

15日(土)

・金山町成人式

午前10時～開発センター

19日(水)

・運転免許更新

午前9時～開発センター

・乳がんマンモグラフィ検査

午前9時～開発センター

・スーパークッズ

午後7時～

旧横田中体育館

29日(土)～30日(日)

・尾瀬街道妖精の里かねや

まつりデーウォーク

29日 沼沢湖畔

30日 大塩運動場

午前8時～ 受付

★9月★

2日(水)

・スーパークッズ

午後7時～ 町民体育館

10日(木)

・行政相談

午前10時～ 金山町役場

11日(金)

・膝腰痛予防教室

午前9時30分～

ゆつゆつ館

15日(火)

・三町村陸上記録会

金山小学校

案内

妖精の里商品券発売中

金山町商工会では町内の加盟店で使用できる「妖精の里商品券」を平成二十一年八月一日から販売しています。商品券は、一冊五千円（五百円券十一枚綴り）で町内の加盟店と商工会で販売しています。一人十万円まで購入可能です。ご利用期間は、平成二十一年八月一日から平成二十二年一月三十一日までの六か月間です。

◎問い合わせ

金山町商工会

☎ 54-2311



販売中の妖精の里商品券

町水道メーター検針

九月一日から五日までの間に町水道メーターの検針を実施します。検針のために検針員が各戸を訪問しますので、検針メーターの上に検針に障害のあるものが置いてある時は、八月中に取り除いておいてください。※水沼、高倉、三更、太郎布、田沢の各地区は該当ありません。

◎問い合わせ

上下水道係

☎ 54-5315

農業機械の貸し出し

金山町では、農業振興を図るために管理機、防除機、ミニバックホーの農業機械を購入し、JA会津みどり金山総合支店で貸し出しをしています。町内の農業従事者の方ならごなたでも使用できます。全機種軽トラックでの運搬が可能です。貸し出し機械の作業種類、利用料金は以下のとおりです。※ミニバックホーについては作業免許が必要です。

◎問い合わせ

JA会津みどり金山総合支店

☎ 54-2011



貸し出しを行っている農業機械

機 種	作業種類	利用料金(消費税込み)
管 理 機	マルチ作業	5,000円/10a
	耕 運 作 業	2,000円/10a
防 除 機	防 除 作 業	2,000円/10a (10a増加ごとに1,000円増)
ミニバックホー	掘 削 作 業	1,000円/1時間

人事

集落支援員

集落支援員に若林豊昇さん(福沢)が委嘱されました。任期は、平成二十一年四月一日から平成二十二年三月三十一日までです。主な職務は、特に高齢化が進む集落や、小規模集落の定期的な巡回をし、住民生活や農地などの状況把握をし、集落の維持活性化の話し合いを図ります。



集落支援員に委嘱された若林さん

ご寄付に感謝

ふるさと応援寄付金

次の方から金山町ふるさと応援寄付金をいただいています。

- 栃木県宇都宮市の吉岡修一さんから一万円
- 会津若松市の栗城才喜さんから五万円

広報送付に対して

- 会津若松市の長谷川慶一郎さんから五万円
- 会津坂下町の渡部きよ子さんから四万円
- 匿名希望の三人の方から二十九万円
- 千葉県四街道市の嶋田典子さんから一万円
- 山梨県身延町の有泉邦男さんから一万円

ご協力ありがとうございました。

お詫びと訂正

先月の「広報かねやま七月号」三ページの記載に誤りがありました。

二段目

(有)玉梨とうふ茶屋

誤 補助額六十六万六千円

正 補助額四十七万千円

三段目

誤 奥会津エゴマの会

正 奥会津金山エゴマの会

お詫びの上訂正いたします。

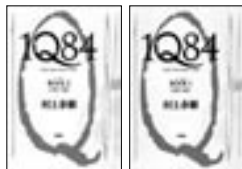
図書室だより

☆ あたらしい本が入りました ☆

一般向け 1Q84 (BOOK1・2)

村上 春樹 著 (新潮社)

～心から一歩も外に出ないものごとは、この世界にはない。心から外に出ないものごとは、そこに別の世界を作り上げていく～



一般向け 英雄の書 (上・下)

宮部みゆき 著 (毎日新聞社)

～私たちの闇と光を圧倒的なイマジネーションで描き出す宮部ワールドの最高峰！～



児童向け ダットさんうみをはしる

こもり まこと 著 (教育画劇)

～ダットさんはスイカばくだんをとりもどすためやつらをおいかけ海の中へ～



◆図書館の利用状況 (6月分)

月刊貸出冊数 98冊 (うち児童書 38冊)

◆県立図書館本の紹介

○ぼっけにプー

大江 康仁 原画・原作 (文溪堂)

○HAPPY焼き菓子 (主婦の友社)

○やせる! 腰回しダイエット

SHINO 著 (マキノ出版)

貸し出しは1人3冊まで、貸し出し期間は2週間です。土曜日もやっています。

◎問い合わせ 中央公民館 ☎ 54-5360

社会保険・共済組合の家族の皆様へ 特定健康診査のご案内

40歳以上75歳未満の社会保険、共済組合加入者の家族の方で、まだ平成21年度の特定健康診査を受診されていない方に健診の予定をお知らせします。

健診日時 11月16日(月)
13:30～15:30

健診会場 金山町開発センター

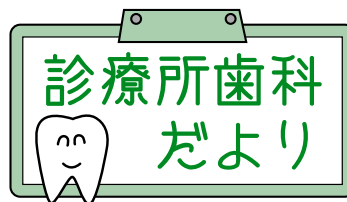
対象者 申請時、受診時に協会けんぽ共済組合等に参加している人の扶養になっている40歳以上75歳未満の方

準備物 特定健康診査受診券
健康保険証

健診機関 東日本診療所 (巡回健診車)
※原則、健診前日までの予約制
☎ 024-545-5801

※協会けんぽ加入者の家族の方で、まだ「特定健康診査受診券」をお持ちでない方は、協会けんぽ福島支部へお申し込みください。

◎問い合わせ 協会けんぽ福島支部
☎ 024-523-3919



市川公久 先生

こうくう 口腔機能向上の必要性について

何やら難しい題目ですが主に噛むこと、飲み込むことがいかに重要で、その機能を正常に保つことの必要性について少々書いてみたいと思います。

まず、口腔という言葉ですがこれは主に唇から喉の入り口までのことです。口腔機能とは主にものを噛んで飲み込むことを指しますが日頃何気なくやっている物を噛んだり飲み込んだりという行為はすべて筋肉によって行われています。つまり噛まない、噛めないという状態が長期間続くとこのあたりの筋肉が衰えてなおさら飲み込みにくくなってしまいます。普段食事をする前にこれらの筋肉を活性化させる体操をしてから食事をするように楽に飲み込めるようになります。現在そのやり方の説明書を作成中で、その体操の指導法も練習中ですので近々皆さんにご覧いただけたと思います。この体操は、認知症防止にもいいのでぜひ生活に取り入れていただけたらと思います。

☎ 54-2031

緑のふるさと協力隊活動報告

vol.3

上横田営農組合で米の減反政策の一端である景観形成作物として、山中踏切隣の三角田にサルビア・ひまわりなどの花を植えました。その花畑の名前を集落内で公募していたのですが、管理している上横田営農組合内の選考により、見事決定しました！その名も「花のなごみガーデン」です。管理を任せられたので、名前の通り見ていて地域の人たちの心がなごむような花畑にしていきたいと思っています。元々田んぼなので水はけが悪く、草も生えてきて手入れが大変ですが、みんなに喜んでもらえるように頑張ります。今は赤いサルビアが見頃を迎えておりこれから背の高い元気なヒマワリが花を咲かせる予定です。ソーデーウオークの通り道にもなっているのので、ぜひ花を楽しみながら歩いてみてください。

最近、絵手紙を書くことがマイブームです。奥庄一先生に基本を教わって以来、自宅でも創作活動にいらしていただきます。そして描く才能がないみたいなので、描く材料はいつも畑で採れた野菜たちです。そして、その絵手紙に文章を添えて、静岡の祖父と文通しています。今までは半年に一度くらい会いに行くだけだった祖父だったので、金山に来てからの方が連絡を取り合う機会が増え、物理的な距離は遠くなったのに心の距離が近くなりました。こちらに来て高齢者と関わることで自分の祖父のこととも考えるようになったのと、毎日が充実していて報告したいことが増えたからだと思います。これからもういっぱい報告することが出来るように、活動に励んでいきたいと思っています。



最近作成した絵手紙

都築 朋恵

あの人この人

7月届出（敬称略）

こんにちは赤ちゃん

小林 ひろと（父・小林 和衛）（本名）
大翔（母・美樹）
高木 なち（父・高木 弘志）（川口）
菜智（母・智子）

お二人で幸せに

該当はありませんでした。

霊よ安らかに

長谷川 正 美（59歳）西 谷
渡 邊 龍 夫（80歳）板 下
今 井 ヤス子（87歳）山入一
相 原 ヤエノ（94歳）越 川

※このコーナーに掲載を希望されない方は、届け出時に申し出て下さい。

地上デジタル放送受信機 無償給付のお知らせ

2011年（平成23年）7月24日の地上デジタル放送への完全移行に向け総務省では、NHK受信料全額免除世帯に対して、地上デジタル放送を視聴するための機器等を無償給付する支援を行っています。

- 〈注意〉・支援の申し込みには、NHK受信料の全額免除の適用を受けることが必要です。
・支援は現物支給ですので、ご自身で購入したチューナー等の精算は出来ません。

◎問い合わせ

総務省地デジコールセンター

0570-07-0101

平日 9:00～21:00

土・日・祝日 9:00～18:00

衆議院議員総選挙

衆議院議員総選挙が次の日程で行われます。

▼公示日

八月十八日（火）

▼投票日

八月三十日（日）

▼期日前投票

八月十九日（水）から
八月二十九日（土）

期日前投票は、役場または横田出張所で午前八時三十分から午後八時まで行うことができます。

◎問い合わせ

選挙管理委員会

☎ 5415215

金山町の人口（8月1日現在）

世帯数	1,147世帯	(±0)
人口	2,647人	(±0)
男	1,252人	(±0)
女	1,395人	(±0)

※（ ）内は先月比



登頂記念のバッジを持つ小塩さん

おじゃまします

金山の山男が快挙を達成

小塩 里美 さん (越川)

今月は、七月五日に飯森山（喜多方市）の登頂に成功し、県内のうつくしま百名山全山制覇を成し遂げた小塩里美さん（越川）にお話を伺いました。

最後の難関

「うつくしま百名山の中でも難所の山と言われる飯森山は、道程が長く過酷なので百名山登山の最後に計画を立てました。当日も登りに六時間三十分、下りに五時間三十分かかりましたが、なんとか踏破することができました」と全山制覇を成し遂げた喜びを語ります。

忘れられない達成感

「家の庭先から一際目立つて見える浅草岳に、妻と一緒に登ったのが百名山登山を始めたきっかけでした。頂上からの眺望や、頂上に立てた達成感は今でも忘れることができません。どんな山に登る時も登り始めた頂上まで到達したい。その一心で足を進めます」とその強い気持ちを語ります。



百名山の最後飯森山頂上での記念撮影

強靱な心と体力

「登山仲間と一緒に登る楽しさもありますが、日程などの自由が利かないことでもあります。道に迷う恐怖やさみしさもありましたが、約半分は単独で登頂しました。それに体力の落ちないうちに全山制覇したいという目標を達成するために、単独登頂と登山仲間との登頂を合わせて、この二年間で六十五山の登頂に成功しました」と話し、その精神的そして肉体的な強さには驚かされるばかりです。小塩さんは、これから心に残った山に再度登山するなど、山をこよなく愛し、楽しみながら登山を続けていくとのこと。



生涯学習のマスコット マナビイくん

体験しよう！ 風力、水力、太陽光！

わんぱく教室で環境学習

横田公民館のわんぱく教室は七月十八日、開発センターで行われました。今回は会津若松市のNPO法人環境保全会議あいつのスタッフを講師に迎え環境学習を行い八名が参加しました。「地球温暖化」は二酸化炭素を含む『温室効果ガス』が増えることにより、地上の熱を吸収しすぎて必要以上に暖かくなる現象です。会場に設けられた発電コーナーでは、風力、水力、太陽光、人力、燃料電池の二酸化炭素をほとんど排出しない、環境に優しい発電装置で電気が作られる様子を見たり体験したりしました。

また、ペットボトルを利用した「ソーラー・プレーン」という飛行機づくりに挑戦し、講師の加藤絃一さん（大栗山出身）の指導を受けながら一生懸命組み立てに取り組みました。ペットボトルを軸に、ミニソーラーパネルを積んだ飛行機がバランスをとって回れば大成功。当日はあいにく雨のため試験飛行はできませんでしたが、太陽が出ていれば大旋回したことでしょう。なお、今回作成した作品は横田地区文化祭に展示する予定です。



作ったソーラー・プレーンを持つ参加者

生涯学習
だより

144